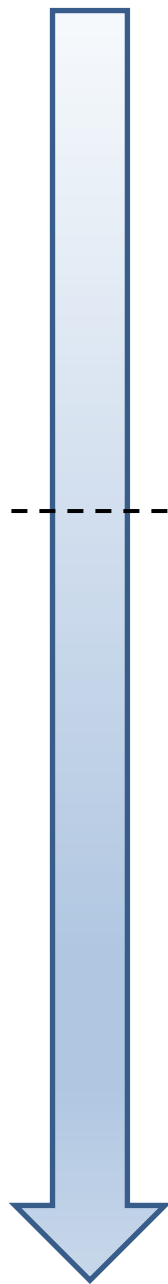


3. 荒川水系流域治水プロジェクトについて

2) 今年度及び今後の取組予定

令和4年5月30日

荒川水系（東京ブロック）流域治水協議会の今後の予定



荒川水系流域治水プロジェクト 公表

協議会〔第4回〕

幹事会〔第2回〕

※荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクトの充実化版（案）更新

協議会〔第5回〕

※荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクトの充実化版（案）確認等

荒川水系流域治水プロジェクト 公表（更新・充実化版）

※埼玉ブロックと東京ブロックを統合した荒川水系全体版

協議会〔第6回〕

※荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会と同時開催

- ・規約改定
- ・荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト
カテゴリー修正
- ・今後の予定（令和4年度の取組（案）について）
荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクトのフォローアップ
水害リスク情報の充実化
市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報
荒川水系（埼玉ブロック）との連携交流

幹事会・個別WG（適宜）

※市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報の具体的な検討、対応
荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクトのフォローアップ、更新

協議会〔第7回〕

※荒川水系（東京都）大規模氾濫に関する減災対策協議会と同時開催
荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト更新
代表自治体から取組事例の報告 等

①減災対策協議会、流域治水プロジェクトの取組状況フォローアップ

■流域治水協議会では『「被害対象を減少させるための対策」のうちの「高台まちづくりの推進」「住宅高床化」』及び『氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策』に関するフォローアップを実施

・以下の対策のフォローアップ対象項目としては、個票までを流域治水協議会で作成し、両協議会で共有する。

■流域治水協議会のフォローアップ対象項目

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策		
事項		
	具体的取組(国・都・区市町調査項目)	
1)洪水氾濫対策		
1	堤防整備、護岸整備等	
2	河道掘削	
3	橋梁架替	
4	調節池整備	
5	超過洪水対策	
2)内水氾濫対策		
1	下水道の雨水貯留施設の整備	
2	下水道の排水施設の整備	
3)流域の雨水貯留機能の向上		
1	校庭貯留	
2	雨水貯留施設の整備(建物内の雨水貯留施設、住宅等における各戸貯留)	
3	浸透性舗装	
4	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ、指導	
5	自然地の保全	
6	グリーンインフラ(公園緑地の整備、施設の緑化等(水害対策も実施))	
7	道路下の雨水貯留浸透施設	
被害対象を減少させるための対策		
事項	流域治水協議会	減災対策協議会 ()目標達成に向けた主な取組/取組内容
1)水災害ハザードエリアにおける土地利用や住まい方の工夫		
1	高台まちづくりの推進	
2	住宅高床化	

①減災対策協議会、流域治水プロジェクトの取組状況フォローアップ

- 減災対策協議会では『「被害対象を減少させるための対策」のうちの「適切な土地利用等の推進」』及び『被害の軽減、早期復旧・復興のための対策』に関するフォローアップを実施
- ・以下の対策のフォローアップ対象項目については、個票までを減災対策協議会で作成し、流域治水協議会に共有する。

■減災対策協議会のフォローアップ対象項目

被害対象を減少させるための対策		
事項	流域治水協議会	減災対策協議会 ()目標達成に向けた主な取組/取組内容
1)水災害ハザードエリアにおける土地利用や住まい方の工夫		
3	適切な土地利用等の推進	(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための取組 43.浸水被害軽減地区の指定(自然堤防等の保全) 44.適切な土地利用の促進(土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		
事項	流域治水協議会	減災対策協議会 ()目標達成に向けた主な取組/取組内容
1)避難体制等の強化		
1	ハザードマップの改良、周知等	(1)命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組 6.浸水特性を考慮した避難計画の策定 7.ハザードマップの改良、周知、活用 8.ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実 9.災害リスクの現地表示 11.隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等 12.広域避難を踏まえた避難情報の発信基準の見直し
2	タイムラインの策定・運用	(1)命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組 2.長期的な水位予測が可能なシステムの整備 4.ICTを活用した洪水情報の提供 13.避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(タイムライン) 14.荒川下流域水防災タイムライン(流域タイムライン)の策定・運用 16.気象情報の改善(水害時の情報の入手のしやすさをサポート)を実施 17.洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		
事項	流域治水協議会	減災対策協議会 ()目標達成に向けた主な取組/取組内容
1)避難体制等の強化		
3	防災教育や防災知識の普及	(1)命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組 15.実践的な訓練の実施 18.水害時の事前準備に関する問合せ窓口の設置 19.(小中学校を含む)防災教育の促進 20.教員を対象とした講習会の実施 21.出前講座等を活用した講習会の実施 22.効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料作成の実施 23.区民等に向けた河川情報の発信の工夫・改善、区民向け周知 24.風水害の体験型訓練の実施 25.職員の出水時の知識・経験の継承 26.避難訓練への地域住民の参加促進 27.共助の仕組みの強化 28.住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進 29.地域防災力の向上のための人材育成 30.垂直避難のリスク周知や広域避難の必要性の啓発に向けた取組の実施 31.垂直避難者の被害の低減に向けた対策を実施
4	避難施設等の整備、確保(避難路、避難所等)	(1)命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組 1.円滑かつ迅速な避難に資する施設(避難先、防災行政無線等)を整備 32.緊急時または応急的な避難場所の確保(避難場所の整備、民間施設の活用等) 33.河川防災ステーションの整備
5	要配慮者利用施設における避難計画の作成・避難訓練の実施、及び避難計画作成の支援ツールの充実	(1)命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組 5.避難計画作成の支援ツールの充実 10.要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施
6	庁舎や災害危険病院等の自衛水防の推進(耐水化、電気設備の嵩上げ、止水板の設置)	(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための取組 3.区庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備) 41.排水設備の耐水性の強化 42.区庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		
事項	流域治水協議会	減災対策協議会 ()目標達成に向けた主な取組/取組内容
1)避難体制等の強化		
7	ダムの事前放流等の情報提供	(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための取組 34.ダム等の洪水調節機能の向上・確保(既存ダムの機能を最大限活用する運用方法の検討等)の情報提供 35.荒川水系治水協定に基づく洪水調節機能強化・事前放流等の情報提供
8	水防活動における連携強化、支援	(2)洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための取組 36.水防関係者間での連携、協力に関する検討(消防機関等との連絡体制の再確認と伝達訓練の実施・連携、協力に関する検討) 37.重要水防管の見直し、水防資機材の確認 38.毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施(水防訓練の充実) 39.水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組) 40.迅速な水防活動を支援するため新技術を活用した水防資機材等の配備
9	排水計画作成及び排水訓練の実施	(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組 46.氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成 47.排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施
10	災害時の復旧、支援	(3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組 45.災害時及び災害復旧に対する支援 48.早期復興を支援する事前の準備
11	災害に備えた家庭内の食料備蓄の推進	ローリングストックの普及
2)地域のリスク情報の共有		
12	多段階水害リスク情報の発信	

②水害リスク情報の充実化

【目的】

あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能な「流域治水」(流域全体を俯瞰し、ハザード・暴露・脆弱性への対応の組み合わせた総合的かつ多層的な対策)を推進するため、水災害リスクに関する各種情報を適切に評価し、具体的な対策に反映していくことが求められる。

事前の浸水リスク情報は、主に円滑な避難の確保を目的として作成・公表されている。今後はさらに、「まちづくり」(都市計画マスタープラン、立地適正化計画(防災指針))や「流域治水プロジェクトの効果説明」等に活用することを目的に、水害リスク情報を充実化していく必要があるため、この一環として、リスクマップを作成する。

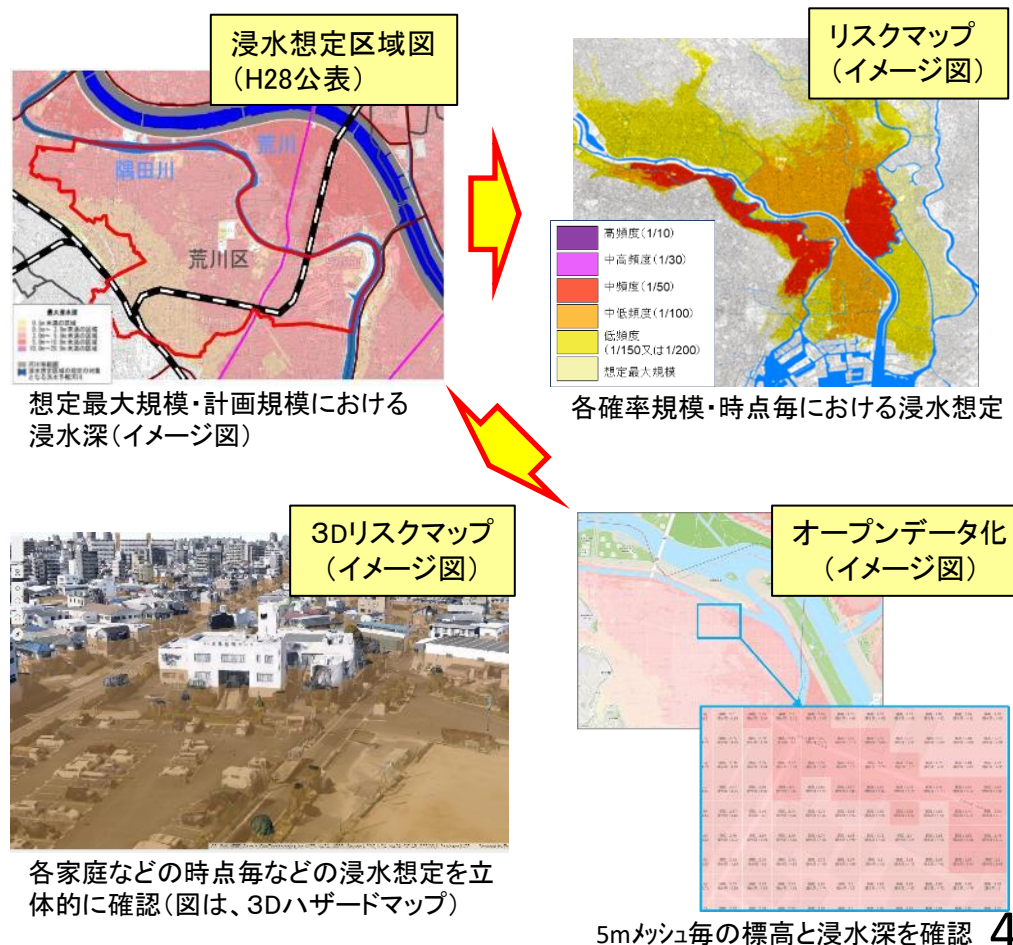
【今後の計画】

いままで浸水想定区域図を想定最大規模や計画規模で作成し、荒川下流河川事務所のHP等で公表している。

今後は、想定最大規模や計画規模だけでなく、高頻度、中頻度などの確率規模毎、又、流域治水プロジェクトにおける現在、短期、中期、中長期の時点毎の氾濫を重ね合わせた図(リスクマップ)を作成し、水害リスク情報の充実化を図る。

リスクマップは、荒川3D管内図にも掲載、「3Dリスクマップ」として公表することにより、一般の方にも位置情報等が分かるGIS、見える化を図る。

また、利用用途の拡大によって一般への災害情報の伝達や防災意識の向上に寄与することが期待されるため、洪水浸水想定区域図のメッシュ毎の標高、浸水深をオープンデータ化する。



③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

ウェルビーイング（well-being）流域治水

流域治水においては、さまざまな手法を生かして、人の想像力の限界を超えていくことが必要である。豊かな想像力を通して、他者に対する理解や思いやりが進み、利他の価値観を持つことで流域治水は推進される。流域治水の取り組みに参画する者が、身心の喜びや思いやり、共感などを得られることにより、参画する者のより良い状態「ウェルビーイング（well-being）」を実現することができることも大切である。

ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン宣言から抜粋

<参考> ミズベリング的「流域治水」ソーシャルデザイン2022



ミズベリング的流域治水 アクションアイデア

流域治水という社会課題に対して「多様な主体の能動的参加」を促すためには、多様な楽しいアクションアイデアが必要です。
多様なアクションから多様な参加動機が生まれ、能動的な参加機運が高まるのです。
ここにとりあげるアクションアイデアは、今回の研究会にて集められたたくさんの方々のアイデアの一部です。
各地域ごとに地域特性にあった独自のアクションアイデアを生み出すためには、自由さと創造性を大切にしながら語り合える必要があります。その語らいの場は、多様な主体の参加と、発言に対する制約をできるだけ取り除いたものでなければなりません。

流域天気予報



流域治水SDGs キャンペーン



トークイベント



風呂ためキャンペーン



防災遊びPJ



流域治水アート



流域治水商品



ソーシャルアクションディ



「ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン研究会」を第一回（2021年6月30日）、第二回（2022年3月10日）と開催し、研究会での対話の中から、流域治水を多様な主体で進め、かつ成果が得られるものとするために必要な考え方を「ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン宣言」としてまとめられた。

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

河川管理者だけでなく、あらゆる関係者が主体となり、流域に関わるみんなで治水対策を行う“流域治水”を推進すべく、流域にお住まいの市民・企業等も協働で流域治水に参画していただくための具体的な取組“流域治水ソーシャルアクション”、流域治水を知って頂く“戦略的広報”を進める。

<流域治水ソーシャルアクション（案）>

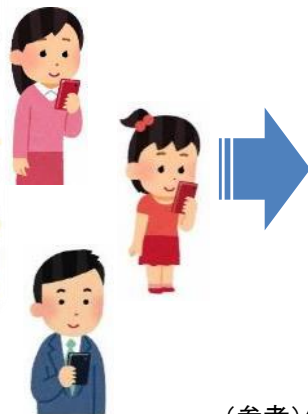
①風呂ためキャンペーン

- 洪水時に、川や下水管を流れる水を減らすためには、家庭からの排水量を減らすことも大切。そこで、大雨によって川が氾濫しそうな時は、お風呂や洗濯の水をできる限り流さないよう市民のみなさんに意識して頂くとともに行動変容を促すキャンペーンを実施。
- 具体的には、民間アプリや「荒川3D河川管内図」等と連携し、スマホ等で実施状況を“見える化”する。



出典 ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン2022から抜粋

各家庭等の取組を
民間アプリに投稿



地図上で実施状況を見
える化（イメージ図）



（参考）住民の投稿による可視化の事例
Yahoo防災アプリ ライフラインの供給情報
<https://emg.yahoo.co.jp/>

デジタル技術による行動変容の事例：「ベルリン市民が力を合わせて、街の木を救う！」

ドイツをはじめ中欧は、ここ数年続く熱波によって、250 年来最悪の干ばつに直面している。街の 59%が緑地というベルリンでも、秋めいてくる前から、街路樹が乾燥のために枯れ葉のような茶色の葉を散らしたりと、その影響が見えてくる。そこで、私たちの木を、みんなで救おう！と「Gieß den Kiez（街に水をやろう!）」というベルリン市によるサイトが開設され、ドイツ中で大きな話題を呼んでいる。このサイトは、62 万5千本の市内の街路樹が、樹齢や乾燥度とともにオンライン上の地図にアップされるというもの。サイトに登録したユーザーは、自分が居る場所の身近な木を選んで状態をチェックし、定期的に水やりを行うことで、木の水分不足を防ぐことができる。木を愛するドイツ人の心に響いたのか、アッという間にベルリンだけでなく、ライプツィヒやドレスデンなど他都市でも同様のサイトが次々公開され、近所の人たちで日替わりで水やりをするなど、各地で水やりのご近所ネットワークも立ち上がっているようだ。ちなみに、ベルリンでは現在までに、4300 本以上の木がこのサイトのおかげで定期的に水やりされている。

（出典：madameFIGARO.jp（フィガロジャパン））



図 Gieß den Kiez

（参考）デジタル技術による行動変容の事例

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

②流域治水SDGsキャンペーン

- 流域治水の様々な取組はSDGsの達成に貢献しており、荒川下流域で認知度が高まっている「SDGs」を活用することにより「流域治水」の考えを広く一般の方へ普及することも期待できる。このため「流域治水SDGsキャンペーン」をより一層推進する。
- 河川の維持管理活動や河川教育プログラムなど、ミズベ・グリーンコミュニティなどとのパートナー活動を引き続き強化する。
- 流域治水の取組がSDGsに貢献していることを、自治体や民間等のSDGsの取組の情報発信と連携して広報を行う。



出典:ミズベリングの流域治水ソーシャルデザイン2022から抜粋



自治体におけるSDGsの広報（江戸川区の事例）



民間におけるSDGsの広報（荒川下流工事安全対策協議会の事例）

- 「流域治水SDGsチェックシート」を作成、公表し、流域治水の取組のSDGsへの達成度、貢献度の見える化を行う。

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

③防災遊びプロジェクト

- ・各種イベントに防災、流域治水の体験、PRを追加
- ・河川協力団体との共同企画（Eボート、クリーンエイド等）
- ・北区観光協会アウトドアイベントとの連携 等



NPO法人川に学ぶ体験活動協議会のEボート乗船体験



沿川市区と連携し、様々な市民団体・企業・河川利用団体が参加する荒川クリーンエイド
<https://cleanaid.jp/>



一般社団法人東京北区観光協会主催
「AKABANE PICNIC FESTA」

デイキャンプをはじめ、電動サーフボードやトイドローンの操縦、音楽ステージ 等
<https://prkita.jp/akabane-picnic-festa2022/>

④流域酒場

- ・流域を理解、実感していただくため、「水辺で乾杯」で流域治水をアピール（流域を理解、実感）



出典
ミズベリング的流域治水ソーシャルデザイン2022から抜粋

「水辺で乾杯」とは？

・・・川の日である7月7日午後7時7分に水辺に赴き乾杯し、水辺を粹に静かに楽しもうという試み2015年から開始され、会場は全国の水辺



「水辺で乾杯2021」

https://kawatabi-hokkaido.com/event_mizubedekanpai_2021

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

⑤有識者による市民講座の実施

- ・荒川放水路通水100周年記念イベントとも連携して、荒川に関わりの深い有識者による流域治水等に関する市民向けの講演会を開催。

※2024年度に荒川放水路完成(1924.10.12)から100周年



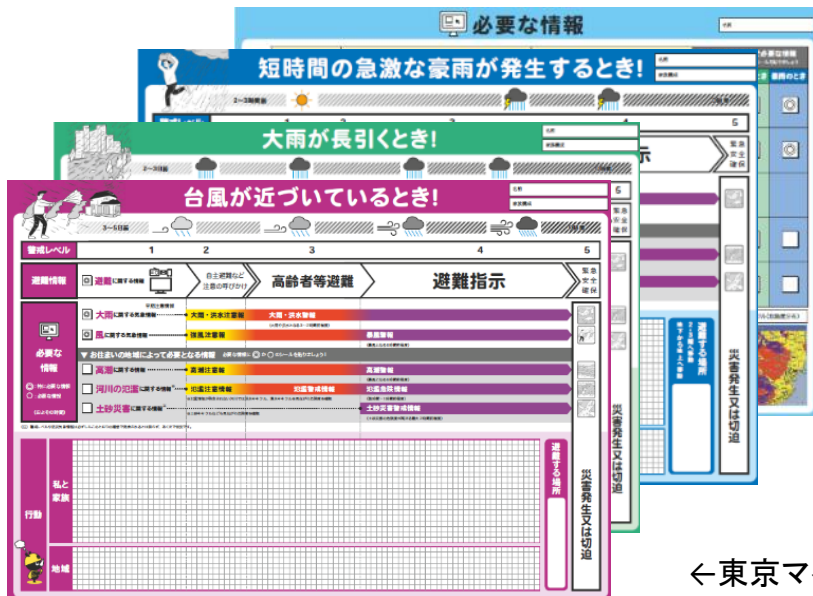
来館者とアモアボランティアによるカウントダウンボード除幕式(R4.1.16)



カウントダウンボード: 荒川下流河川事務所玄関に掲示(R4.5.25時点)

⑥マイタイムライン作成講習会の実施（東京都）

- ・市民等を対象に「東京マイ・タイムライン」等を題材にマイタイムライン作成講習会を開催。



東京防災セミナー

対象：自主組織や町会・マンション管理組合等

東京マイ・タイムライン親子セミナー

対象：親子

働く人のためのマイ・タイムライン作成セミナー

対象：各企業の経営幹部・防災担当者を対象

←東京マイ・タイムライン(一般用)

出典：東京都防災ホームページ

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

<参考>アプリ版「東京マイ・タイムライン」の配信（東京都）

アプリ版「東京マイ・タイムライン」の配信について

令和4年4月
総合防災部

「東京マイ・タイムライン」を、より手軽に作成・活用していただくため、
アプリ版「東京マイ・タイムライン」を新たに東京都防災アプリのコンテンツに追加・配信

便利な4つの機能

作成時

○自宅のリスクを簡単に確認

- ・「水害リスクマップ」と連携し、選択した地点の河川氾濫や土砂災害など想定される**水害リスク**を**視覚的に表示**
- ・河川の氾濫や土砂災害などを疑似体験できる**VR動画**も視聴可能



○チャットボット機能によりらくらくナビゲート

- ・**チャットボット機能**により、質問に受け答えしながら、**手軽に**マイ・タイムラインを作成
- ・**要配慮者の有無**を踏まえた**適切な避難タイミング**を提示



発災時

○防災気象情報等のプッシュ通知との連携

- ・発災時に大雨警報や避難指示などの情報を**プッシュ通知**し、マイ・タイムラインの確認へ誘導することで、**適切な避難行動**をサポート



○「行動チェックリスト」により取るべき行動を容易に確認

- ・作成したマイ・タイムラインに沿って、発災時に自分や家族が取るべき行動を**チェックリスト**で容易に確認



■配信開始日： 令和4年4月28日（木曜日）

※既に東京都防災アプリをダウンロードしている方は、アップデートが必要です。



③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

⑦荒川第二・三調節池事業現地見学会

- 荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会との連携し、東京ブロックの市民等が埼玉ブロックの対策を知る、感じるため、「荒川第二・三調節池整備事業」の現地見学会を実施。

■対策事例【荒川水系(埼玉ブロック)流域治水プロジェクト:荒川上流河川事務所】

『荒川直轄河川改修事業』

1. 忍耐力をできるだけ防ぐ・減らすための対策
(1) 洪水氾濫対策 ①堤防整備、②河道掘削、③治水機能の向上

【主な整備内容】

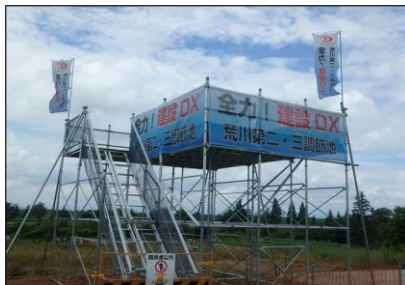
■堤防の整備
洪水発生時の堤防の断面図と、荒川流域図を示す。堤防の断面図には、洪水時の水位と堤防の形状が示されている。荒川流域図には、荒川の本流と支流が示されている。

■河道掘削
河道掘削の断面図と、河道掘削の断面図を示す。河道掘削の断面図には、河道掘削の断面図と、河道掘削の断面図が示されている。河道掘削の断面図には、河道掘削の断面図と、河道掘削の断面図が示されている。

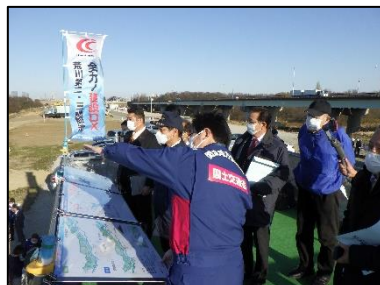
■岡地地整備
岡地地整備の断面図と、岡地地整備の断面図を示す。岡地地整備の断面図には、岡地地整備の断面図と、岡地地整備の断面図が示されている。岡地地整備の断面図には、岡地地整備の断面図と、岡地地整備の断面図が示されている。

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等
荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所、荒川調節池工事事務所

埼玉ブロック対策事例



荒川第二調節池見晴台



現地視察状況

⑧モデル地区における避難訓練支援

- 板橋区のコミュニティ防災モデル地区のうち、新河岸地区において、浸水被害を想定し高齢者等要支援者を含めた避難訓練を計画しており、荒川下流河川事務所は訓練への協力を予定。



訓練イメージ(松浦川水系流域治水プロジェクトの事例)

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

<戦略的広報（案）>

①パンフレット作成・ポスター掲示

- ・流域治水プロジェクトについて、企業や一般の住民の方にもわかりやすい広報用パンフレットを作成、各自治体の庁舎等で配布。
- ・プロジェクトの内容を紹介するだけでなく、一般の方が活用できる流域治水に関する支援等制度の一覧等も掲載。
- ・各自治体で作成したポスターを、建築申請や防災担当窓口等に掲示して、周知を図る。



パンフレットイメージ
(烏川・神流川流域治水プロジェクト)



ポスター作成例（板橋区）

②広報動画の作成

- ・荒川水系流域治水プロジェクトの概要を紹介する広報用動画を作成し、一般の方の視聴が期待できるYouTube等で公開。
- ・各種SNSとの連携により、YouTube等へ誘導、プッシュ型配信も検討。



動画イメージ（関東地整）

③市民・企業等の流域治水への参画促進、戦略的広報 ～ウェルビーイング（well-being）流域治水！！～

③デジタルサイネージによる広報

- 一般の方向けに作成した流域治水の説明用資料（R4.3公表）等をベースに、各自治体等のデジタルサイネージに掲載。

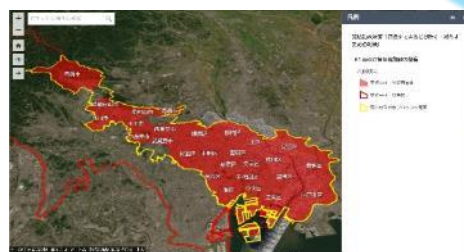


デジタルサイネージ表示イメージ
（荒川下流河川事務所）

④荒川3D管内図の更新、

荒川の流域治水ストーリーマップの公表

- 「荒川3D河川管内図（流域治水プロジェクト）」に、新規プロジェクト等の追加や、流域の概念を意識して頂く表示の工夫等を実施。
- 流域治水説明用資料（R4.3公表）、荒川3D河川管内図（流域治水プロジェクト）をベースに「荒川の流域治水ストーリーマップ」を作成、公表。



荒川3D河川管内図（流域治水プロジェクト）



④埼玉ブロックとの連携・交流

上下流の取組を共有し、更なる取組推進の参考とするため、埼玉ブロックとの連携、交流を図る。

構成機関の拡充

- 東京ブロックに、埼玉ブロックの荒川上流河川事務所、荒川調節池工事事務所、二瀬ダム管理所参画

上下流相互の情報共有促進

- 荒川第二・第三調節池事業や埼玉ブロック代表自治体等の取組を、東京ブロック会議で紹介、共有
- 埼玉ブロックの会議で、東京ブロック代表自治体や荒川下流河川事務所等の取組を紹介、共有

